

● Title: **LivingWebBrowser**● Artist: **Kouichirou Eto**● タイトル: **リビングウェブブラウザ**● 年代: **(2002)**● 作家: **江渡浩一郎 (日本)****作品の概要**

ウェブページはHTMLという「言語」で書かれています。ウェブブラウザはその「言語」を解釈して、ページをレイアウトして表示してくれます。ですから、ブラウザの解釈次第で、ページはどんな姿にもかたちを変えうるのです。LivingWebBrowserは、HTMLで書かれたページを、動的な色と形によって表現するブラウザです。ふつうのブラウザで見る姿だけが唯一絶対の姿ではない、ということをはびびつに証明してくれます。

このデモについて

自分の好きなURLを入力して、どのように表現されるか見てみましょう。

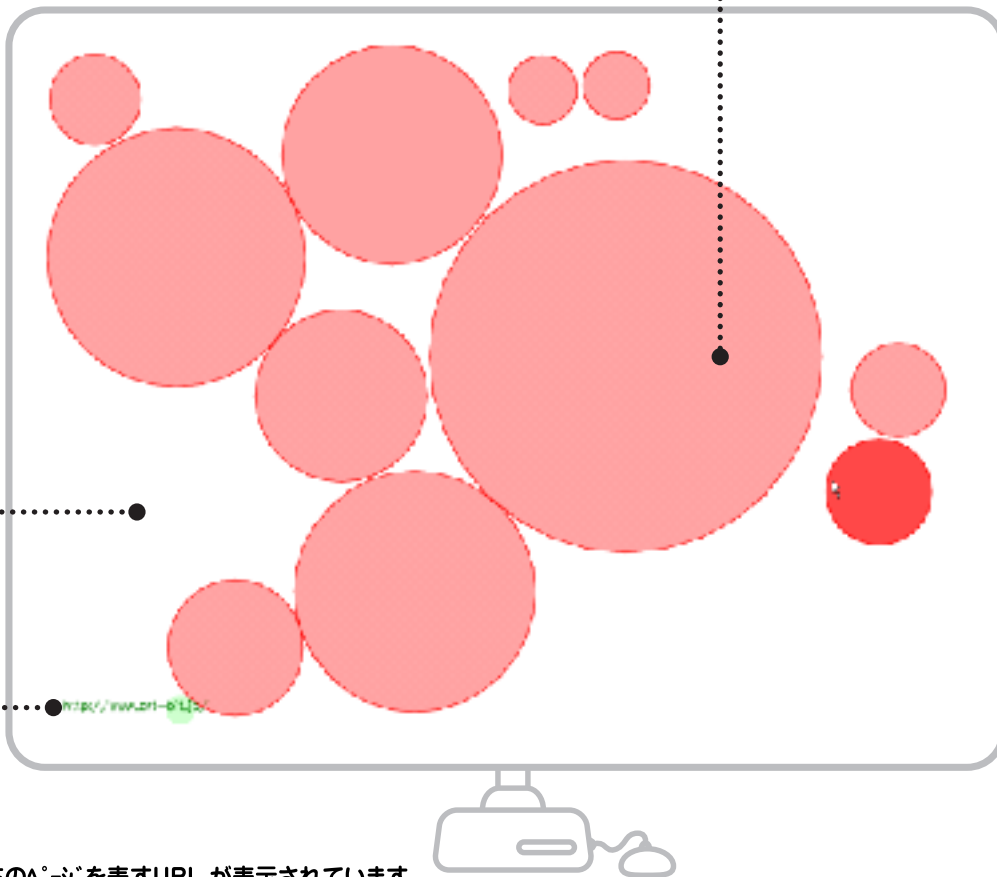
使い方のポイント

- 2) めざすページにたどり着いても、画面はまだ真っ白なままです。画面上でマウス・カールを自由に動かすと、いろんな形が生み出されていきます。

- 3) 赤い枠付きで表示されているかたちが、リンクを表しています。クリックしてみてください。

- 1) 画面左下に現在のページを表すURLが表示されています。そこをクリックすると、URLを入力するモードになります。自分の好きなURLを入力して、リターンキーを押してください。

* 普段は表示されていませんが、左上に「戻る (back)」ボタン、右上に「進む (forward)」ボタンが配置されています。マウスを左上・右上に持っていくと表示されます。

**Profile**

江渡浩一郎(えとこういちろう) ● 1971年生まれ。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。メディアアーティスト。sensoriumプロジェクト「WebHopper」(1996)。岩井俊雄×坂本龍一のコカトMPIxIPMIにおけるパフォーマンス「RemotePiano」(1996)。Canon ARTLABとの共同制作「SoundCreatures」(1998)。日本科学未来館「インターネット物理行」(2001)。